2009年3月の格言

平成２１年３月の格言は

組織というものは、いったんこれが生まれると、
「組織自体の存続」のみが最重要な命題と
なってしまうという恐ろしいものなのである。

組織を存続させるための最重要条件は、
「変化を阻止する」ということである。

変化は常に組織のピンチを意味し、
指導者失脚の危険を伴うからである。

組織の暴威は、会社の業績を低下させることなど朝飯前、
会社をつぶしかねない危険極まりないものなのである。

企業体じゃお客様がなければ、それ自体が存在しない。
お客様の要求に応えなければ企業はつぶれてしまう。
そして、お客様の要求は常に変わり続ける。
変わり続けるお客様の要求に応えるためには、
企業体自身もこれに合わせて
変わり続けなければならないのである。

我々は「変化に対応できる」
全く新しい組織理論を持たなければならない。

一倉定先生著の社長学　第6巻　「内部体勢の確立」より